



## 最新 IHE 入門 2016・2017

病院情報システムを安く、早く、効率的に導入できる IHE

～地域に広がる医療連携の Keyword～

本書籍は、最新の IHE 入門書籍です。詳細な IHE 解説（第 2・3 章）に加えて、最新の IHE 展開状況（第 4 章）、技術資料（第 5 章）、各企業製品の IHE 対応状況（第 7 章）についても記載されています。各種タブレット、スマートフォンに加えて、お使いの**パソコン（Windows・Mac）でも閲覧が可能です**。PDF 版の発売（会員割引販売）もおこなっております。

・価格：3,240 円（税込）

・購入：[Amazon Kindle 版（2016/2 月 発売開始）](#)

<http://www.amazon.co.jp/dp/B01C2O76X0>

・購入：[PDF 版（2016/4 月 発売開始）](#)

<http://www.dlmarket.jp/products/detail/342726>

PDF 版につきましては、日本 IHE 協会 日本医学放射線学会 日本医療情報学会 日本眼科学会 日本歯科放射線学会 日本循環器学会 日本病理学会 日本放射線技術学会 日本放射線腫瘍学会の会員の方、および医療情報技師の方は割引料金（3,240 円⇒2,160 円（税込））で購入可能です。表題に【電子書籍 PDF 版割引購入希望】とし、本文に団体名、各団体の会員番号、医療情報技師の技師認定証番号と購入者の所属、氏名、メールアドレスを記入して、下記にメールでお申込下さい。また、ボリュームディスカウント(10 部以上)も行っていますので、その場合は部数をお知らせください。

[epub@ihe-j.org](mailto:epub@ihe-j.org)

割引での購入方法を連絡させていただきます。

<<まえがき>>

『医療情報システムは、どうして複雑でありかつ高価なのでしょう？』病院で医療情報システムに携わっていると、このような疑問を考えることが多くないでしょうか？

同じような医療情報システムであっても、各病院で微妙に違っており、病院の数だけいろいろの医療情報システムが存在しているのが現状です。

各病院で別々の医療情報システムを使わざるを得ないのは、各々の病院のワークフロー（業務の流れ）が標準化されていないのが原因といえます。このような状況では、医療情報システムを納入するメーカーは、それぞれの病院に合わせて医療情報システムや機器を手直しの必要が生じます。この手直しが莫大なコストや手間のかかる最大の理由です。

本書は、このような医療情報システムの複雑かつ高コストな現状を踏まえたうえで医療情報システムや情報機器の導入や更新のときに是非読んで頂きたい本です。医療情報システムの構築に関心があり、また、医療情報システムを利用している方に、情報システムの無駄な投資を予防できる解説書です。

## <<目次抜粋>> (詳細は購入サイトをご覧ください)

- 1. はじめに
  - 1.1 IHE の成果物
  - 1.2 IHE と仕様書
  - 1.3 相互運用性の活用により業務の効率化を図る
- 2. IHE 入門
  - 2.1 IHE 概要
    - 2.1.1 目的・理念
    - 2.1.2 生まれた背景・成立
    - 2.1.3 歴史
    - 2.1.4 検討領域 (ドメイン)
    - 2.1.5 IHE サイクル・活動内容
    - 2.1.6 IHE のスコープ  
(IHE 採用でできること、別に検討が必要なこと)
  - 2.2 IHE の用語
    - 2.2.1 IHE 活動の成果 (TF / IP / Actor / Transaction)
    - 2.2.2 テクニカルフレームワーク
    - 2.2.3 統合プロフィール
    - 2.2.4 アクタ
    - 2.2.5 トランザクション
  - 2.3 テクニカルフレームワーク (TF) の読み方
    - 2.3.1 TF の構成
    - 2.3.2 統合プロフィールの概要・スコープ
    - 2.3.3 ユースケース
    - 2.3.4 アクタの仕様
    - 2.3.5 アクタ?トランザクションのダイアグラム
    - 2.3.6 参照している標準規格
  - 2.4 TIPS1 IHE 関連の情報の探し方・技術文書編
    - 2.4.1 IHE-International のサイトのたどり方
    - 2.4.2 IHE 活動に関する詳細な情報サイト
  - 2.5 TIPS2 IHE 関連の情報の探し方・製品編
    - 2.5.1 Integration Statement の見つけ方と読み方
- 3. 各ドメインの概要
  - 3.1 放射線 (RAD)
    - 3.1.1 RAD に含まれる統合プロフィールとトランザクション
    - 3.1.2 日本の標準との関係
    - 3.1.3 主な RAD 統合プロフィール
    - 3.1.4 他領域プロフィールのオプション
  - 3.2 臨床検査 (LAB)
    - 3.2.1 臨床検査のワークフローと IHE
    - 3.2.2 臨床検査ドメインで使用する標準規格
    - ～
  - 3.3 循環器 (CARD)
    - 3.3.1 循環器領域の医療情報の特徴
    - 3.3.2 心臓カテーテル検査 (CATH)
    - ～
  - 3.4 内視鏡 (ENDO)
    - 3.4.1 内視鏡検査のワークフローと内視鏡ドメイン
    - ～
  - 3.5 放射線治療 (Radiation Oncology : RO)
    - 3.5.1 放射線治療部門の情報連携
    - ～
  - 3.6 IT インフラストラクチャ (ITI)
    - 3.6.1 セキュリティ基盤
    - ～
  - 3.7 患者ケアデバイス (PCD)
    - 3.7.1 各装置からのデータ収集 (DEC)
    - ～
  - 3.8 眼科
  - ～
  - 3.9 病理・臨床細胞
  - ～
- 4. IHE Update
  - 4.1 放射線検査 (RAD)
  - ～
  - 4.2 臨床検査 (LAB)
  - ～
  - 4.3 循環器 (CARD)
  - ～
  - ～
- 5. 資料編
  - 5.1 参照規格 (DICOM, HL7, Web 関連の規格, MFER)
    - 5.1.1 DICOM (The Digital Imaging and Communications in Medicine)
    - 5.1.2 HL7 (Health Level 7)
    - 5.1.3 その他の IHE 参照規格
  - 5.2 テクニカルフレームワーク (TF)
  - 5.3 厚生労働省標準規格
  - 5.4 用語集
- あとがき
- IHE 製品紹介